

1. 研究課題名

術後再建腸管例の総胆管結石に対する EPLBD の成績

2. 研究の目的

内視鏡的ラージバルーン拡張術 (EPLBD) は 12mm 以上のバルーンを用いて胆管口を拡張させる手技であり、胆管拡張を有し、EST や EPBD 単独では治療困難な症例 (大結石、多数結石など) に対する結石除去が比較的容易に行えるとされるが、通常解剖における EPLBD の有用性は多くの報告がある一方で、術後再建腸管例における報告は少なくその成績を明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

●対象となる患者さん

2011 年 6 月から 2018 年 5 月までに手稲溪仁会病院消化器病センターで術後再建腸管例の総胆管結石に対して EPLBD を行った方。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、入院日、退院日、年齢、性別、身長、体重、併存疾患（心疾患、肺疾患、脳血管疾患、腎疾患、肝疾患、精神疾患）、抗血栓薬服用の有無、腸管再建方法、総胆管結石の大きさ、数、胆管径、治療成績、処置具等
上記カルテ情報を、手稲溪仁会病院消化器内科に集約して解析を行います。いずれのデータも、診療の中で得られた情報であり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。情報の保管は研究責任者が責任を持って行います。

●研究期間

実施許可日から 2018 年 12 月 31 日まで

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

手稲溪仁会病院 消化器病センター 研究責任医師 田中 一成

〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

TEL : 011-681-8111 FAX : 011-685-2967